

## いつまでもわすれない

地しんで てん校した  
母の いなかの 射添小学校へ  
見たこともない 大雪だった  
とても さむかった  
でも 安心して ねむることができた

はじめて 学校へ 行った日  
体いくかんで あいさつをした  
みんな あたたかく むかえてくれた  
全校生 百四十一人  
三年生は たったの 十七人  
みんな とても やさしかった  
すぐに なかよくなれた

はじめての バス通学  
まんいんの バスにゆられて 二十分  
ちよっぴり えんそく気分  
はじめての スキーえんそく  
みんな すいすい 楽しそう  
すべれないのは わたしだけ  
先生が つきつきりで 教えてくれた  
少し すべれるようになった  
「やったあ」と思った

神戸に帰る日が 来た  
射添小学校を はなれなくなかった  
地しんを わすれるほど 楽しかったから

三年生から もらった 『思い出のつづり』  
校長先生からの 手紙  
たんにんの 先生からの 手紙  
ほかの 学年の 人からの 手紙  
みんな 大事に しまっている

今でも ときどき 思い出す  
楽しく かよった 射添小学校  
なかよく あそんだ みんなの顔  
雪に うまりそうだった 村岡の町  
わたしは いつまでも わすれない

本資料の著作権は兵庫県教育委員会に帰属します。  
本文のすべてまたは一部について無断で複写して使用することを禁止します。